



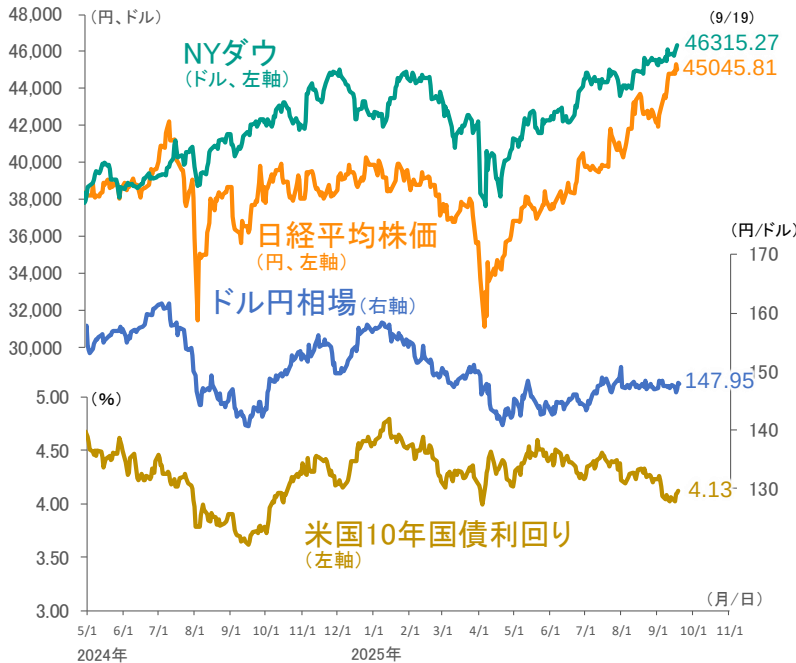
マーケット・レポート

Weekly Guide 2025.9.22

りそなグループのYouTube
で、最新のマーケット情報を
配信しております！



主要マーケット指標



【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

先週は、米FRBが予想通り0.25%の利下げを決定し、更に年内あと2回の追加利下げ見通しを示したことから株式市場では買い安心感が広がり、NYダウなど米主要3指数は揃って最高値を更新しました。週間騰落率は、NYダウが+1.0%、ナスダック総合は+2.2%、独DAX指数▲0.2%。日経平均株価は18日に4万5303円まで最高値を更新しましたが、19日に日銀が保有するETFの売却方針を発表したことから250円程度反落し、週間では+0.6%で終わりました。(日銀のETF・リートの売却については、時間をかけて売却が進められるため、日本株・東証リート市場への影響は限定的と考えられます。) 10年国債利回りは、米国が前週末比+6bpの4.13%、独は同+3bpの2.75%、日本は+5bpの1.65%に上昇しました。ドル円は146円~148円を中心に横ばい圏で推移しました。

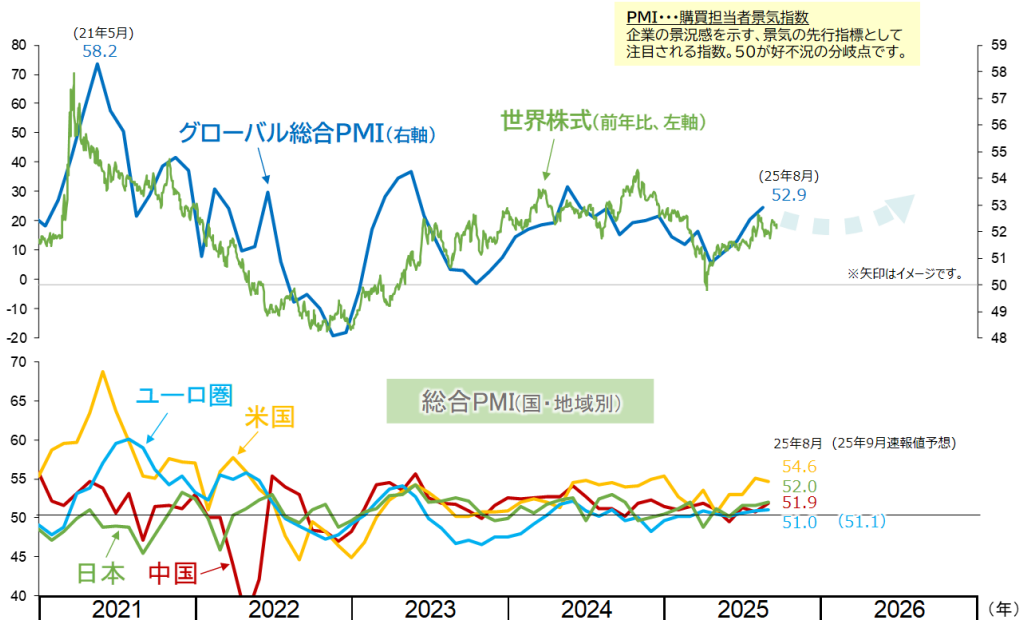
今週は、日・米物価統計が金融政策を見極める判断材料となります。国内では自民党総裁選の告示があり、各候補の政策内容が注目されます。

当面の注目イベント

- ◆ 日・自民党総裁選告示 (22日)
- ◆ 日・米・欧 総合PMI9月速報値 (23・24日)
- ★ 独・9月IFO期待指数 (24日)
- ★ 米・8月コア資本財受注 (25日)
- ◆ 日・8月東京都部CPI (26日)
- ◆ 米・8月コアPCEデフレーター (26日)

★：りそな景気先行指数関連指標

8月グローバル総合PMIは52.9と米相互関税発動後も好・不況判断の分岐点となる50を上回り、世界景気の拡大継続を示唆します。今週の日・米・欧総合PMI9月速報値で、この堅調が続いているかを点検することになります



※世界株式：MSCI-World 指数 (現地通貨建て、配当込み)

【出所】ブルームバーグ、Haver Analytics等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

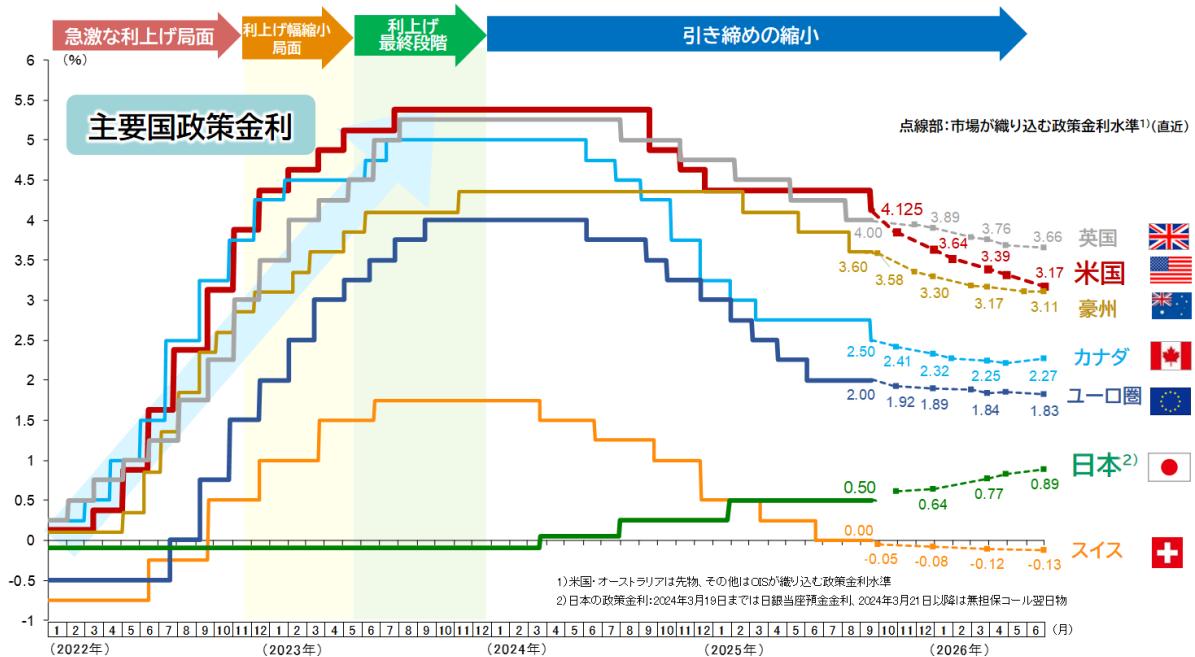
※最終ページの＜当資料に関するご留意事項＞を必ずご覧ください。



りそなアセットマネジメント

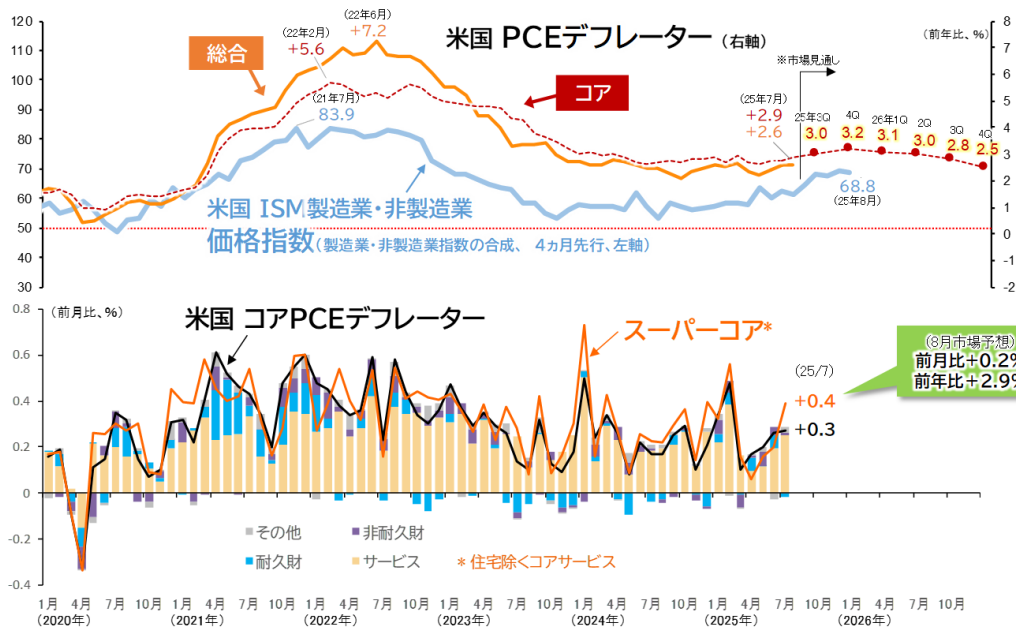
RESONA

先週は米国が6会合ぶりに0.25%利下げ(→4.125%)、カナダが4会合ぶりに0.25%の利下げ(→2.50%)を決定しました。来年央にかけ主要国(日本除く)の利下げ姿勢が継続し、世界景気の拡大を下支えすることが見込まれます



【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

米FRB(連邦準備制度理事会)が物価目標とするコアPCEデフレーター¹⁾の8月分が発表されます。予想(前月比+0.2%、前年比+2.9%)に沿った内容となれば、年内2回の追加利下げ観測が一段と強まるとみられます



【出所】Haver Analytics等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

次回は 2025年10月6日 発行予定です

〈当資料に関するご留意事項〉

■当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、りそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体としてお渡しする「目論見書補完書面」を必ずご確認ください。